

新内の楽しみ11

月夜に踊る恋人たち〜茨木の浄瑠璃音頭〜

【出演】

新内志賀

語り・三味線／トーク

滝本ひろ子

篠笛・鳴物

新内志賀

新内研進派三代目家元八代目新内志賀

しんないしが

令和5年

7月8日(土) 午後2時開演

茨木クリエイトセンター

センターホール 舞台上特設ステージ



- 主催：公益財団法人茨木市文化振興財団
- 後援：茨木商工会議所／茨木市観光協会／茨木市
- 制作協力：株式会社アクティブケイ

■ 新内浄瑠璃について ■

新内節は江戸時代に始まり、主にお座敷で鑑賞されてきた浄瑠璃のひとつです。時代劇に登場する江戸情緒たっぷりの新内流しのシーンをご存じでしょうか。音楽でありながら人間の機微を描いた「聴く文学、聴く演劇」といわれ、特に、艶やかな音色の三味線と、哀切な節と声が、新内節の特徴です。

見どころ

茨木市北部の見山地域、清溪地域に伝わる「浄瑠璃音頭」。そのひとつが江戸時代の人形浄瑠璃の名作『絵本太功記』十段目尼崎の段から取られていることがわかりました。「絵本太功記」のなかでは、若い許婚が祝言もあげないうちに初陣であたら命を落とします。新作では茨木のとある村の、幼なじみの恋人たちの物語をこの名作と撚り合わせ、浄瑠璃音頭が歌いつがれる村祭を舞台にした曲を創作しました。第二次世界大戦の昭和20年7月9日には茨木市の小学校が戦闘機による銃撃を受けて、児童の2名の命が奪われたそうです。かけがえのない命と愛を新内節で謳い上げ、そしてまた夏の村祭りらしく、躍動的な鳴物との共演も見どころです。トークコーナーでは「盆踊りの情景」と題し、茨木市や日本の各地の代表的な盆踊りとその曲についても、懐かしくお楽しみいただきます。

新内志賀(重森三果) しんないしが / 語り 三味線

京都市生まれ。幼少期より江戸浄瑠璃新内節を研進派初代家元・新内志賀大掾及び新派家元・富士松菊三郎に師事。小唄を里園派宗家・里園志寿栄及び里園志寿華に師事。2012年研進派家元、並びに新内志賀の襲名を果たし、現在は一門の指導・育成に献身している。本名の重森三果名義では、さまざまな文学をもとに脚色した作品や自ら書き下ろした楽曲を、新しい試みをもって精力的に発表している。また数多くの映画・テレビ等に於いて邦楽指導、演奏出演するなど多岐にわたって活動をしている。2014年文化庁芸術祭音楽部門優秀賞受賞。京都市立芸術大学、同志社女子大学、大学コンソーシアム京都で非常勤講師をつとめる。



滝本ひろ子 たきもとひろこ / 篠笛 鳴物



長年、和太鼓とのセッションをするなかで、ノリのあるグルーブ感や一筋光る笛の音色を追求する。そこからさまざまな音楽やARTとのコラボレーションにも挑む。海外公演も多数行う。現在は、フリーの横笛奏者として、こころやわらぐメロディ、篠笛で花鳥風月をうたうオリジナルな世界を表現。また京都を拠点に寺社での奉納演奏、時代劇の音楽指導や出演での制作協力を行う。

令和5年(2023年)7月8日[土]午後2時開演(1時30分開場)

茨木市市民総合センター(クリエイトセンター)センターホール 舞台上特設ステージ

[全席自由] 1,500円 ©茨木市観光協会、茨木市勤労者互助会、OSAKAメセナカード各会員は10%引き *就学前のお子様はご遠慮ください
5月8日(月) 10:00予約開始 *発売初日はweb・電話予約のみ、1回につき6枚まで *チケットの引取、窓口販売は発売翌日から

チケットのお申込み・お問合せ

◆茨木市文化振興財団・文化事業係 ([電話]【窓口】共に10:00~17:00)

【電話】072-625-3055 【web】www.ibabun.jp
【窓口】財団チケットカウンター(クリエイトセンター1階/福祉文化会館3階)
【コンビニ】ファミリーマート ※要手数料

■チケット代の振込・郵送について

予約後5日以内に郵便局備え付けの「払込取扱票」でチケット代+手数料をお支払いください ※入金確認後発送
払込先: (払込口座)00970-7-190576 (加入者名)茨木市文化振興財団
※用紙の通信欄に公演名・枚数をご記載ください ※手数料はご負担願います

◀その他のプレイガイド▶

ローソンチケット https://l-tike.com (Lコード: 53137) ※ローソン・ミニストップ各店舗で購入可



クリエイトセンター(茨木市市民総合センター)
大阪府茨木市駅前四丁目6番16号 **ibabun** 検索
072-624-1726